

31.鍋割山（神奈川県西部 標高 1273m）

塔ノ岳直下の金冷シの頭から西に雨山峠へと連なる尾根を鍋割山稜と呼び、その中心となるピークが鍋割山（1272.5m）です。ここでは比較的登りやすい、大倉より林道沿いに二俣を経て登るコースを紹介します。

大倉バス停より塔ノ岳に向かって左側の、鍋割山への道標に従って行くと農家に続く畑に出ます。秋冬はタヒバリ、ツグミ、ハクセキレイが採餌していたり、春にはヒバリが麦畑で囀っているのが見られるでしょう。

やがて四十八瀬川沿いの林道に出ると、冬にはルリビタキやジョウビタキが時々見え隠れします。フサザクラ、キブシ、ダンコウバイ等の木に花が咲く頃になると、ミソサザイが高らかに囀りはじめます。足下

にはスマレやヤマドリソウが可愛い花をつけ、林道の水たまりにヒキガエルの卵が産みつけられていたりします。初夏にはヤブサメのシシシシという虫のような声や、オオルリの美しい囀りが響きます。

旧登山訓練所が左に見えるとまもなく二俣に到着。林道は勘七ノ沢を渡り、小丸への尾根を右に見てぐるっと回り込むと広い河原に出ます。春には群生しているヒメレンゲの黄色い花が見られるでしょう。

林道にお別れしてミズヒノ沢を渡り、登山道は杉林の急登に変わり、ジグザグを何度か繰り返すとやがて後沢乗越に到着。吹き抜ける風に汗を拭って一休みしていると、初夏にはホトトギス、ツツドリ、ジュウイチが飛びながらけたたましく鳴いています。左へ行くと栗ノ木洞、右へカヤトに



鍋割山荘と筆者

コースタイム

大倉－（1時間15分）－二俣－（45分）－後沢乗越－（1時間）－鍋割山－（30分）－小丸－（1時間10分）－二俣－（1時間15分）－大倉
地形図：1:25,000 大山、秦野 案内図：丹沢（昭文社）

季節

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

覆われた登りとなります。

ここではアカゲラやアオゲラに出合ったり、ヒガラやコルリの囀りが聞こえてくるでしょう。冬季にはウソの群がフィ、フィ、と優しい声で鳴き交わしながら飛んで行きます。また、夏期にはニイニゼミやエゾハルゼミのミョーキンと鳴く声、アサギマダラ等の蝶にも出会えます。

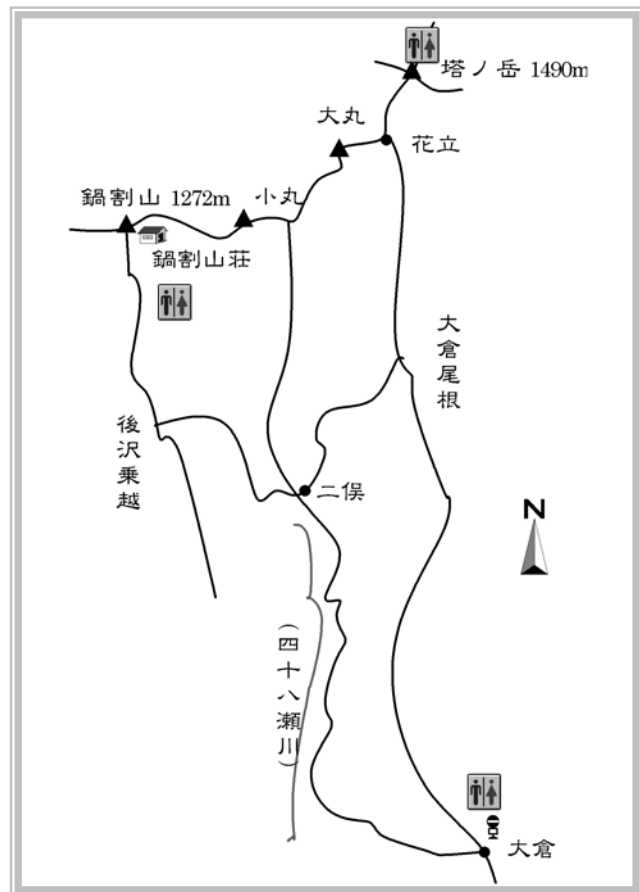
二つほど頂上かと惑わせるピークを越えると最後の急登の後、鍋割山の広い頂上に着きます。頂上にある鍋割山荘のご主人、草野さんは今でも物資はすべてポッカで担ぎ上げているとのこと。この鍋焼きうどんは愛情のこもった美味しい一品です。（注、土日のみ）

ここから金冷シまでは美しいブナの樹林帯で、コルリ、ピンズイ、コガラの囀りに心が弾みます。林下にはツルシロカネソウ、シコクスミレ等の花が目を楽しませてくれるでしょう。

帰路は、大倉尾根を下っても小丸から二俣へ下っても良いでしょう。

長いコースですので、特に秋から冬にかけては早立ちして時間にゆとりを持って行動して下さい。

（関野祥子）



観察できた鳥

1998.12.28 1999.2.1 1999.3.27 1999.5.28 1999.7.24 1999.10.25 1999.12.30

トビ・オオタカ・ノスリ・キジバト・ツツドリ・ホトトギス・ジュウイチ・アマツバメ・ヒメアマツバメ・アオゲラ・アカゲラ・コゲラ・ヒバリ・ツバメ・イワツバメ・キセキレイ・ハクセキレイ・セグロセキレイ・ピンズイ・タヒバリ・ヒヨドリ・モズ・ミンサザイ・カヤクグリ・ジョウビタキ・ルリビタキ・コルリ・トラツグミ・アカハラ・クロツグミ・シロハラ・ツグミ・ウグイス・クイタダキ・センダイムシクイ・キビタキ・オオルリ・ヒガラ・コガラ・シジュウカラ・ヤマガラ・エナガ・ゴジュウカラ・メジロ・ホオジロ・カシラダカ・アオジ・カワラヒワ・ウソ・イカル・シメ・スズメ・ムクドリ・カケス・ハシボソガラス・ハシブトガラス

あし

・小田急線渋沢駅下車 神奈川中央交通バス 大倉行き 終点下車
 ・交通機関問い合わせ先：ページ 117 参照